

## 橋本健一郎氏のアルミスクラップ8月レポート及び9月見通し

**■概況:**前半は中国政府発表の7月の中国非製造業PMIは54.2に低下し6ヶ月ぶりの低水準だったこと、7月のHSBC中国非製造業購買担当者景気指数(PMI)は50.0と6月から大きく低下し2005年11月の算出開始以来で最低だったこと、7月のHSBC中国サービス部門PMIは50に低下し9年ぶりの低水準などマイナス材料もあったが中国のアルミ地金およびアルミ製品の輸出は3年ぶりの高水準、7月の輸出量は38万トンで2011年7月の39万トン以来だったこと、海外市場での価格上昇で輸出急増、ポルトガル政府が国内大手銀行のBESを49億ユーロで救済と発表したこと、7月の中国自動車販売は前年比6.7%増の160万台だったこと、ロシア軍が演習を終了したとの報でウクライナ緊張が和らいだことを好し下げ幅を圧縮。8月15日時点の現物後場買いは1992ドルと月初価格から13ドル下げる前半締めとなった。

後半は米の7月の新築住宅販売は2ヶ月連続のマイナスとなる前月比2.4%減の41万2000戸で3月以来の低水準と予想外だったこと、7月の米景気先行指数は前月比0.9%上昇で予想の0.6%上昇を下回ったこと、8月のユーロ圏景況感指数は100.6に低下、業況指数は0.16に悪化するなどマイナス材料もあったが米週間新規失業保険申請件数は29.8万件に減少と予想の30万件を下回ったこと、7月の米中古住宅販売仮契約指数は前月比3.3%上昇し予想の0.5%上昇を上回ったこと、8月の米消費者信頼感指数は92.4に上昇し予想の89を上回ったことを好し上昇、9月2日現在のLME・現物後場は2080ドルと後半スタートから95ドル上げてのスタートとなった。

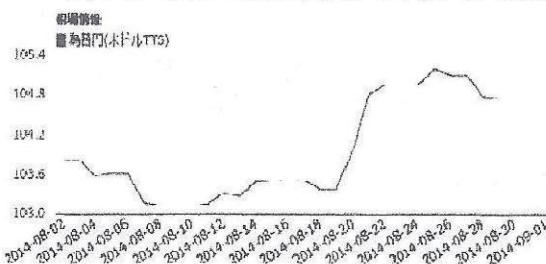
**■前月の経済指標:**月間のドル/円TTSレートは103.75円→105.06円。日本自動車工業会による自動車生産台数は前年比-1.7%の89万4742台。日本自動車販売協会連合会による軽を除いた自動車販売台数は前年比-5%の20万6606台。国土交通省統計による新設住宅着工戸数は前年比-14.1%の7万2880戸。貿易指標では、財務省貿易統計による輸出はアルミ新地金が前年比+7.4%の145t、2次合金が+28.4%の1518t、スクラップが+44.1%の1万6059t。輸入は新地金が同+50.9%の17万3132t、2次合金が+3.4%の8万8875t、スクラップが+38.7%の1115t、合金スクラップは+42.3%

の5810t。国内指標では、日本アルミニウム協会発表の圧延品生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2%の18万2899t。日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は同-3.1%の7万2823t。

**■見通し:**今月引き続きウクライナ情勢の行方及び中国の景気対応に一喜一憂した月となつた。

自動車生産台数は89万4742台で前年同月の91万246台に比べ1万5504台・1.7%減と11ヶ月ぶりに前年同月を下回った。乗用車は75万7523台で1万8481台・2.4%減と11ヶ月ぶりマイナス、トラックは12万3154台で1333台・1.1%増と13ヶ月連続プラス、バスは1万4065台で1644台・13.2%増と2ヶ月連続プラス。7月の国内需要は46万260台で前年同月比2.5%減、軽を除く8月の国内自動車販売台数は20万6606台で前年比-5%と1ヶ月ぶりマイナス、内、乗用車-5.9%、貨物+1%、バス+5.2%。輸出は前年同月比0.1%増。7月の住宅着工戸数は7万2880戸(前年同月比14.1%減)、季節調整済年率換算値で83.9万戸(前月比5.0%減)、堅調に推移してきたがこのところの消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動もあって減少。持家(注文住宅)の着工については本年2月から前年同月比で減少。分譲マンションの着工については建築費の上昇等の影響により事業者間の契約・着工が先送りされているとの事業者の見方がある。また貸家の着工については相続税の節税対策もあり堅調に推移してきたが前年同月比で17ヶ月ぶりに減少。このような状況のもと住宅着工については今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。持家は6ヶ月連続減(前年同月比25.3%減、季節調整値の前月比7.9%減)、貸家は17ヶ月ぶり減(同7.7%減、同9.2%減)、分譲住宅は6ヶ月連続減(同7.7%減、同1.2%減)、分譲マンションは6ヶ月連続減(同12.7%減)、分譲一戸建住宅は3ヶ月連続減(同3.7%減)。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績は前年比-3.1%の7万2823t。アルミ圧延・押出品生産数は+2.0%の18万2899tと11ヶ月連続プラス。板類に関して、缶材は4万0729t(+2.8%)、7月のビール系飲料の出荷数量は前年同月比で減少したがビール系以外の飲料(チューハイ、ノンアルコール等)が増



	5月	6月	7月
生産台数	77万4039台	85万7317台	89万4742台
前年比	+6.1%	+6.6%	-1.7%
	6月	7月	8月
販売台数	26万5171台	28万5806台	20万6606台
前年比	-0.7%	+0.6%	-5%
	5月	6月	7月
新設住宅着工数	6万7791戸	7万8757戸	7万2880戸
前年比	-15%	-9.5%	-14.1%

加傾向にあること等により2ヶ月連続プラス、自動車は1万3,235t(+2.3%)、トラック向けの好調(前年同月比+16.3%)等により11ヶ月連続プラス(7月の新車販売台数は46万台、前年同月比-2.5%)、輸出は1万8498t(+33.7%)、海外工場を立ち上げる圧延メーカーの素条輸出の増加等により4ヶ月連続プラス。押出類では、建設は4万3766t(-8.1%)、新設住宅着工戸数減少を受けマイナスに転ず(6月の着工戸数は7万5757戸、前年同月比-9.5%)、自動車は1万2278t(-0.6%)、トラック向けは好調(前年同月比+7.3%)であったものの11ヶ月ぶりマイナス。輸出は新地金が前年比+7.4%の145t、2次合金が+28.4%の1518t、スクラップが+44.1%の1万6059t、世界的な需要増(米ボーイング社、米中の好調な自動車生産)や過去最高のプレミアムなどからLME価格が2100ドル近辺まで上昇したこと背景に輸出増と見解。輸入は新地金が同+50.9%の17万3132t、2次合金は+3.4%の8万8875t、スクラップは+38.7%の1115t、合金スクラップは+42.3%の5810t、前月から一転し住宅、自動車はアベノミクス特需から減少しているがアルミは自動車および部品輸出が堅調なことから上昇。

アルミ需給に関して、住宅関連は新設住宅着工数が前年比-14.1%、持家-25.3%、貸家-7.7%、分譲住宅-7.7%、分譲マンション-12.7%と大幅減少、消費税前の駆け込み需要も終了し5ヶ月連続減、消費税特需も終了し当面は見込みなし。自動車は生産が11ヶ月ぶりマイナスの-1.7%、8月の国内販売台数も前年比-5%と再び悪化、販売が減少の兆しが見受けられメーカーもそれに伴い生産を調整したため来月以降に注意。消費税前のかけ込み需要の反動から2本柱の住宅が減少傾向、先行き共にどの水準で落ち着くか注視

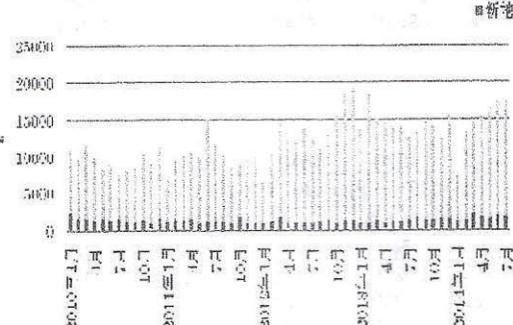
したい。スクラップ需給に関して、為替が前月から1円以上安いTTMレート102円~104円近辺でいい水準ではあるが、アベノミクス特需も7月以降陰りがみられるものの自動車に関しては米中の自動車生産が好調なことから輸出が需要を引っ張り、引き続き供給不足。

アルミ価格に関して、今月はECBの金融政策及びロシア・ウクライナ情勢に左右される。ECBのドラギ総裁は追加的金融緩和に関して積極的なコメントはしておりタイミングを計つるものと思われる。今月中に行われる可能性はブルームバーグ・ニュースのエコノミスト調査によるとECBが今月4日の政策委員会で政策金利を過去最低水準に据え置くと予想したのは55人中50人と可能性は低い。ロシア・ウクライナ情勢に関しては米欧が対ロシア制裁を強めてるものの中止が対ロシヤ政策に難色示し早期解決は今月中はない。

それらを踏まえた9月のアルミ価格は、ECBが量的緩和を行わずロシア・ウクライナ情勢が少現状から悪化した場合、アルミ輸出国であるロシアからの供給懸念から7月高値のもう一段高の2200ドルを予測、いずれかの場合は2100ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合、もう一段安値の1900ドル。為替は注目のジャクソンホールでのイエレン発言が特に材料視されなかつもの金融緩和の終了ペースは鈍らないと観測やECBも量的緩和を早期に行うことはないとの観測判断で、TTMレートは対円・ユーロでのドル高から上値は7月高値の102円台、下値は変化なければ104円まで円安進むと予測。メーカースクラップ購入価格は+5円~+10円と予測。

	5月	6月	7月
新地金	16万3414t	14万5372t	17万3132t
前年比	+46.7%	+30%	+50.9%
二次合金	9万6668t	8万9749t	8万8875t
前年比	+3.2%	+45.6%	+3.4%
スクラップ	1087t	737t	1115t
前年比	+51.8%	+16.1%	+38.7%
合金スクラップ	4706t	4600t	5810t
前年比	+33.4%	+40.5%	+42.3%

アルミ輸出推移



アルミ輸入推移

